

大阪府の文化施策の概要



令和元年5月7日

大阪府 府民文化部 文化・スポーツ室 文化課

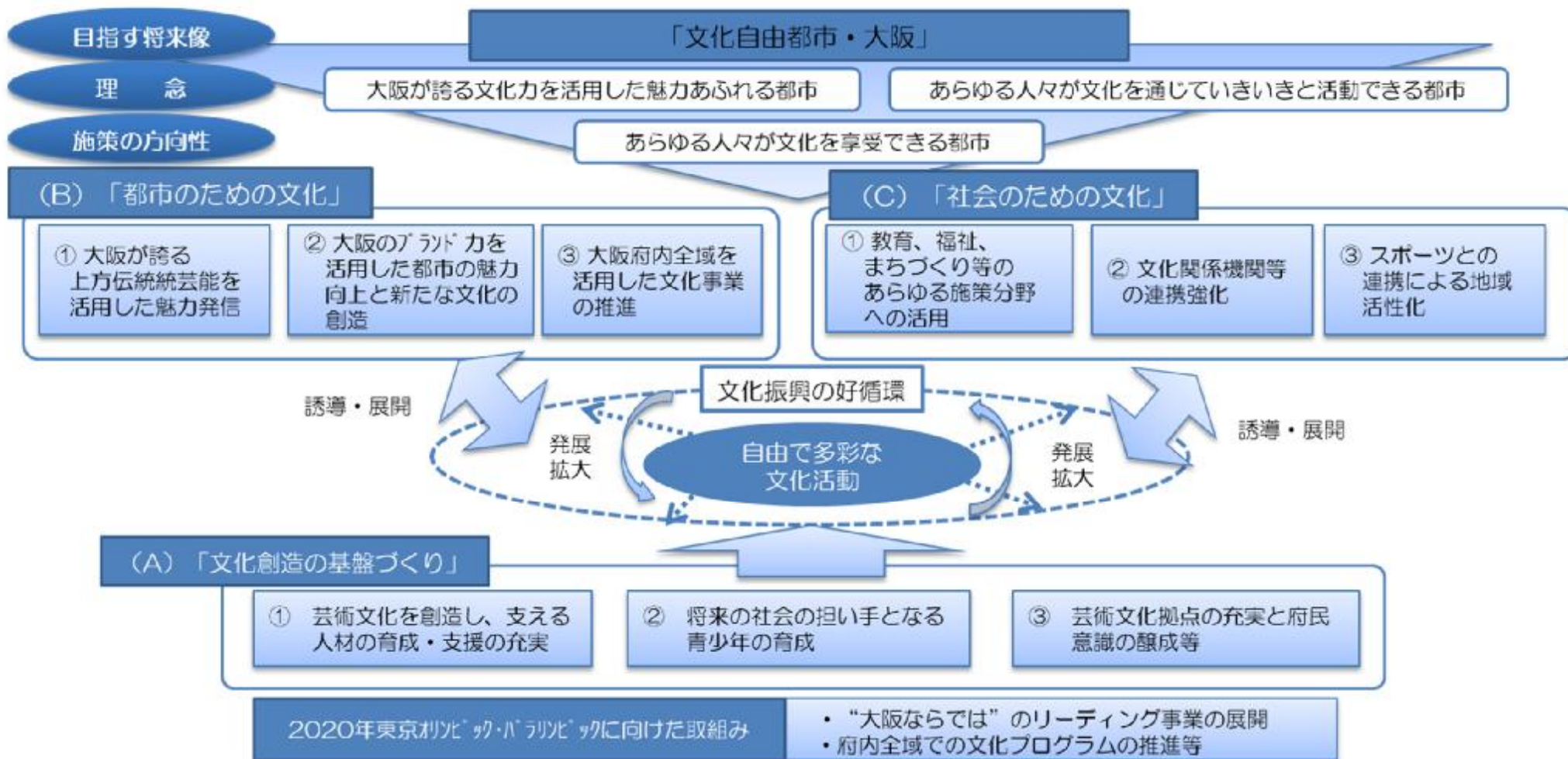
～ 目 次 ～

◇大阪府の文化施策について	P 1
◇大阪文化芸術フェス	P 2
◇府立文化施設の運営	P 4
◇府民の芸術文化活動に対する支援	P 6
◇その他の文化施策（主なもの）	P 9
◇大阪府市文化振興会議、アーツカウンシル部会の活動	P 10

大阪府の文化施策について

大阪府では、「大阪府文化振興条例」に基づき、「第4次大阪府文化振興計画」を策定（平成28年11月）し、文化施策の充実に向けた取組みを推進。

「第4次大阪府文化振興計画」の概要



大阪文化芸術フェス

大阪文化芸術 FES

事業目的

- 大阪が長い歴史の中で培ってきた上方伝統芸能をはじめとする優れた文化芸術や日本を代表する文化遺産、大阪発展の歴史的背景や景観等、多彩で豊かな大阪の文化を核として都市魅力を創造し、広く国内外に発信します。
- 府内のホール・劇場や公園に、国内外から様々なジャンルのアーティスト等が集まり交流することで、大阪で新たな文化を創造するとともに、府内全域にインバウンドを含めた多くの観光客を呼び込んでいきます。
- 国内外に大阪の文化・芸術を核とした都市魅力を積極的に情報発信することで「大阪」のプレゼンス、都市格を高め、2025年の「大阪・関西万博」の成功につなげるとともに、国際発信拠点の形成を目指していきます。

大阪文化芸術フェス2019（予定）

- 期 間 2019年9月中旬 から 11月中旬まで
- 会 場 大阪を象徴する次の2か所をメイン会場に、府内全域で様々なプログラムを集中的に実施。
 - ・「水の都」として発展してきた歴史の中心地である「中之島・大阪城周辺エリア」
 - ・1970年大阪万博のレガシーである「万博記念公園」
- 概 要（プログラム案）

【実施主体】
大阪文化芸術フェス実行委員会
(大阪府、大阪市、大阪商工会議所、
公益財団法人大阪観光局)

«中之島・大阪城周辺エリア»

- ・「水の都」として発展してきた歴史を活かしたプログラム／重要文化財に指定されている文化施設を活用し、上方伝統芸能や上方演芸、演劇、音楽、ダンス等の舞台芸術等の多彩な大阪の文化魅力をアピールするプログラム／本物の大阪の食文化を体感できるプログラム など

«万博記念公園»

- ・豊かな自然や広大な敷地・施設すべてを活用し、コンサートや大阪万博のシンボル「太陽の塔」を活用したアート展示やポップカルチャー、大阪の食やお茶（茶道）などの生活文化を取り入れたプログラム など

«府内会場»

- ・府内各地域で受け継がれている祭りなどの伝統行事をはじめ、魅力あふれる地域の文化資源を活用するプログラム など

平成30年度実績

- 期 間 2018年9月29日（土）から11月4日（火）
- 場 所 万博記念公園をはじめ府内会場（17ヶ所）
- プログラム 主催プログラム：7件 28公演、共催プログラム：11件 18公演
- 参加者数 438,213名（うち主催・共催プログラムで139,927名）
- 報道実績 823件（新聞、テレビ、WEB（海外含む）、SNS等）
- 経済波及効果額 19.7億円



「大阪文化芸術フェス2018」概要記者発表会

2018年度ポスター



コシノジュンコ ファッションショー
“SPECTRUM” of OSAKA
by JUNKO KOSHINO
[大阪府庁本館]



僕は手塚治虫になりたかった。
黒田征太郎展
[心斎橋ビッグステップ BIGSTEPHALL]



府・ヴァルトワース県
友好交流コンサート
[ザ・フェニックスホール]



演劇公演
SMALL TOWN, BIG CITY
～大阪でひろった4つ小石～
[ABCホール]



平家物語を題材にしたオペラ「藤戸」
[いずみホール]



大阪文化芸術フェス2018
× 大阪水都フェス2018連携イベント
[中之島公園]



Welcome to OSAKA ～
「芸能の都」大阪へようこそ
（外国人観光客を伝統芸能でおもてなし）
[関西国際空港 国際線到着口特設ステージ]



ぴあ演芸館ウミガメ寄席「春野
恵子・神田松之丞 二人会」
[朝日生命ホール]

府立文化施設の運営

大阪府立上方演芸資料館（通称:ワッハ上方）管理運営事業

大阪固有の文化である上方演芸を後世に伝えていくため、資料の収集・整理・保存を行うとともに、資料の館内・館外展示等を行い、府民に上方演芸に親しむ場等を提供する。また、上方演芸の発展と振興に特に大きな役割を果たし、広く府民から愛し親しまれ、後進の目標となる演者の殿堂入り表彰を実施する。

このたび、平成31年4月24日に、府民はもとより、国内外の観光客にも上方演芸の魅力をこれまで以上に広く発信し、伝えていくため、リニューアルオープン。リニューアル後の資料館では、上方演芸の歴史を知ることができる展示のほか、半年ごとにテーマを絞った展示や、ワークショップ等を開催。

【施設概要】

- 目的：上方演芸の保存及び振興を図るとともに、府民に上方演芸に親しむ場を提供し、大阪文化の発展に資する
- 住所：大阪市中央区難波千日前12-7 YES-NAMBAビル7階
- 休館日：毎週月曜日、年末年始（12月29日～1月3日）
- 開館時間：10時～18時 ■ 入館料：無料



常設展示

大阪弁の解説パネルや歴史的価値のあるポスターの展示など



企画展示「芸人とファッション1920年代～現代」展

芸人たちの衣装に着目し、時代の変遷とともに、移ろい、変化してきた衣装を展示



体験・ワークショップ

映像技術を用いて演芸人と記念撮影やにらめっこ対決が楽しめるコーナー



展示内容は
定期的にリニューアル

大阪府立江之子島文化芸術創造センター(通称:enoco)管理運営事業

文化芸術の創造及び振興を図り、大阪の都市の魅力の向上に資することを目的とする施設。館内には、大小4つのギャラリー、制作のためのアトリエルーム、古本屋、ライブラリー、カフェ、フリースペースなどを整備。

絵画等の収蔵作品の管理活用、交流・活動場所の提供、アートやデザインを活用した地域課題の解決のための支援、解決等、創造的な活動機会の創出を支援するための協働の拠点づくり等を実施。

- ・所在地：大阪市西区江之子島2-1-34
- ・開設：平成24年4月1日
- ・開館時間：午前10時～午後9時（月曜日、年末年始休館）
- ・主な事業：府が収蔵している「大阪府現代美術コレクション」（約7,900点）の展示、貸出し
芸術文化に関する交流・活動場所の提供
クリエイターやアーティスト、府民、NPO、大学、専門家、企業、行政等多様な個人や組織が
対等な立場で交流・対話を行うためのセミナー、ワークショップ等の実施



(平成30年度の主な実績)

- 来館者数 延べ100,082人
- 企画展示
親子層を対象に、「おしゃべりOK」「クッションに座って鑑賞・模写OK」の「enocoおしゃべり美術館」など計3回開催(延べ来館者数 3,092人)
- 季節ごとにテーマを変え、多様な人々がenocoに来館するきっかけづくりを行う「えのこdeマルシェ」6月、8月、1月の計3回開催(延べ来場者数 8,774人)
- 府内の小・中・高・支援学校に出向き、出張展示と対話型鑑賞を行う「コレクションキャラバン」の実施(計5校)
- 子どもや大人、クリエイター、アーティスト向けの教育講座の開催
- ニュースレターの発行(5月、9月、1月・各1万1千部発行)
- 絵画等所蔵作品活用点数 971点
(内、「大阪国際がんセンター」176点等)

(令和元年度の主な取組)

- 芸術文化活動の支援や助成を行う団体と連携し、トークイベントやフォーラムを開催
- 子どもや大人、クリエイター、アーティスト向けの教育講座の開催
- 企画展示の実施
(予定) ・「enocoおしゃべり美術館」
・アーティストやクリエイターと連携した展覧会
・他美術館と連携した展覧会
- 地下フリースペースを活用したワークショップ等の開催
- 「えのこdeマルシェ」の開催
- 「コレクションキャラバン」の開催 など



enocoおしゃべり美術館



えのこ de マルシェ



コレクションキャラバン



子ども向けの教育講座



平成31年1月に、カフェがオープン

府民の芸術文化活動に対する支援

大阪府芸術文化振興補助金／輝け！子どもパフォーマー事業補助金

補助金の交付を通じて、府内の文化活動を応援（メセナ自動販売機の売上げの一部など、「大阪府文化振興基金」を財源として活用）

	大阪府芸術文化振興補助金	輝け！子どもパフォーマー事業補助金
概要	子どもや青少年を中心とした府民に、優れた芸術文化の鑑賞機会などを提供する芸術文化活動に対して補助	府内の子どもが参加し、文化活動を発表する事業に対して補助
補助金額	最大100万円まで補助	最大30万円まで補助
応募資格	府内の団体のみ	府内の団体・個人
応募できる事業	優れた芸術文化の鑑賞機会などを提供する事業	子どもたちが参加し、文化活動を発表する事業
事業のターゲット	子どもを含めた府民	府内の子ども（おおむね6歳から20歳）
平成30年度採択事業数	17事業	16事業
令和元年度採択事業数	16事業	18事業

平成30年度採択事業（主なもの）

伝統芸能

子どもたちが、能楽をより楽しく身近に感じられるよう、鑑賞するだけでなく、ワークショップで実際に能面や楽器に触れ、また、舞台上で能楽師と共演する公演。

⇒ オーディションにより選出された子ども6名が稽古を経て出演。また、未就学児を含む46名の子どもが公演を鑑賞。

実施団体からは「補助金交付により、なかなか実現することができない規模での公演が可能となった」旨のコメント。



音楽

府内の学校の吹奏楽部3～4団体が野外ステージで大勢の前（例年2,000人程度の来場者）で演奏し、さらにプロと合同で演奏する事業。

⇒ プロの生演奏を近場で見れる機会、大勢の前で発表する機会を創出し、音楽活動への教育の一助となる。

実施団体からは「補助金交付により、DMが実施でき、合同演奏への出演人数が例年の2倍近くまで増加した」旨のコメント。



平成30年度採択事業（主なもの）

演劇

まちづくり、ひとづくりを題材に町の歩みを物語として綴るミュージカル。
⇒ 実施団体からは「演出・ダンス・歌唱など舞台芸術に関わるプロの先生方の指導を受け、子どもたちを中心とする多くの市民が貴重な経験を得た」旨のコメント。



舞踏

公共のスペースで広く一般の観客を前に演舞を披露し、感動や緊張を体験する事業。
⇒ 実施団体からは「子どもたちが日ごろの練習の成果を発揮し、世界一のダンス部の踊りにも触れることができ、貴重な体験となった」旨のコメント。



庁舎を活用した事業（府庁本館活用事業・フェスパ次世代シアター事業）

○府庁本館活用事業

歴史的・文化的価値の高い府庁本庁舎を芸術文化活動の発表の場として提供し、府民の活動の場を広げることにより、民間の文化芸術団体が実施する自主的な事業を促進するとともに、大阪の文化振興に寄与することを目的に実施。

（平成30年度実績）

- 参加団体 ・ハンガリーのタベ実行委員会：クラリネット、アコーディオン、ギターによるコンサート（鑑賞者数81名）
- ・ライアーアンサンブル「きらきら星」：ライアー（竖琴）によるコンサート（鑑賞者数80名）
- ・上方落語福岡県人隊：上方落語の公演（鑑賞者数58名）

（令和元年度予定）

- 演劇、伝統芸能、合唱、楽器演奏、ダンスなどの舞台芸術活動を行っている団体を随時募集。
- ・尺八 永廣孝山 & 箏ファンタジア：尺八、箏によるコンサート（鑑賞者数112名）



○フェスパ次世代シアター事業

大阪府咲洲庁舎1階フェスパを子どもたちが様々な文化・芸術に親しみ、豊かな感性や創造性を育み、自己表現力を高める文化活動の場として提供することで、文化を通じた次世代育成を図ることを目的に実施。

（平成30年度実績）

- 参加団体 ・Worldあぼろん実行委員会：参加30団体（485名）によるダンスパフォーマンス（鑑賞者数：810名）

（令和元年度予定）

- 咲洲庁舎の耐震改修工事のため、一時休止予定



府民の芸術文化活動に対する支援

音楽指導事業

府民の音楽活動の促進や音楽文化の振興を図るため、青少年等を対象に吹奏楽などの合奏指導や音楽相談、管楽器・打楽器の演奏技術講習会を実施。

(平成30年度実績)

- ・南地区 月日：10月7日
場所：堺市立三国丘中学校 参加者：226名
- ・北地区 月日：2月10日
場所：豊中市立第一中学校 参加者：142名

※参加者満足度：約82%

(令和元年度予定)

- ・南地区 月日：10月上旬（予定）
場所：堺市立三国丘中学校
- ・北地区 月日：2月上旬（予定）
場所：豊中市立第一中学校



音楽体験事業

日本センチュリー交響楽団による音楽を通じた多彩な活動の展開。

(平成30年度実績)

- ・タッチ・ジ・オーケストラ 16公演 参加者：1,955名
オーケストラの中に入って演奏を聴いたり、楽器に触れて音を出したり、指揮を体験したりと、オーケストラを「体感」するコンサート
- ・星空ファミリーコンサート 2公演 参加者：1,630名
夏休み最後の土・日曜日の夕暮れ時から服部緑地野外音楽堂で開催する毎夏恒例のコンサート
- ・支援学校コンサート 1公演 参加者：423名
大阪府内の支援学校の生徒、児童の皆さんを学校単位で招待し、コンサートを開催
- ・支援学校アンサンブル 5公演 参加者：905名
大阪府内の支援学校を訪問し、アンサンブルの演奏会を開催
- ・病院コンサート 5公演 参加者：535名
病院に入院、通院の皆さんに音楽で元気になっていただこうと、病院のロビーにて室内楽の演奏を実施

(令和元年度予定)

平成30年度と同様に、上記コンサートを実施



タッチ・ジ・オーケストラ



夏休みファミリーコンサート

その他の文化施策（主なもの）

芸術文化顕彰事業

大阪の文化・芸術に多大な貢献のあった方を顕彰することにより、大阪の文化振興の機運醸成や都市魅力をアピール。（大阪文化賞、大阪文化祭賞、山片蟠桃賞）

○大阪文化賞（大阪府、大阪市）

学術、生活文化、芸術の分野において際立った活躍をされた方もしくは団体、又は文化芸術の活動者の支援や大阪文化の情報発信など、文化芸術の振興に著しい功績のあった方もしくは団体を顕彰。

（平成30年度：贈呈式H31.2.12）

受賞者：朝井 まかて（作家）

平成30年2月、民話をストーリーに取り入れた『雲上雲下』を発表するとともに、7月には大坂商人を題材にした『悪玉伝』を刊行するなど、上質の話題作をハイペースで発表し続け、大阪から日本の文学発展に寄与するとともに、大阪の文化振興に貢献。



○大阪文化祭賞（大阪府、大阪市、(公財)関西・大阪21世紀協会）

芸術文化活動の奨励及び普及を図るなど、大阪の文化振興の機運醸成を目的に、府内で行われた公演の中から優れた成果をあげたものを顕彰。（平成30年度：贈呈式H31.3.15）

受賞者

【大阪文化祭賞】

坂東竹三郎（伝統芸能・邦舞・邦楽）

六代目笑福亭松鶴生誕百年祭実行委員会（現代演劇・大衆芸能）

尾高忠明指揮 大阪フィルハーモニー交響楽団（洋舞・洋楽）

【大阪文化祭奨励賞】

浦田保親、水野箏曲学院（伝統芸能・邦舞・邦楽）

人形劇団クラルテ、空晴（からっばれ）（現代演劇・大衆芸能）

日本センチュリー交響楽団、DANCE PROJECT 218.（ダンスプロジェクトニヤ）（洋舞・洋楽）



○山片蟠桃賞

日本文化の国際通用性を高めるためにふさわしい優秀な著作とその著者を顕彰。（3年に一度）

（令和元年度：贈呈式R元.6.17）

受賞者：ハルオ・シラネ（Haruo Shirane）

アメリカ・コロンビア大学 東アジア言語・文化学部教授（日本文学・日本文化）、学部長

受賞作：Japan and the Culture of the Four Seasons：Nature, Literature, and the Arts（四季の創造 日本文化と自然観の系譜）

大阪文化再発見事業

大阪に住み、働き、学んでいる人々が「大阪文化」の豊かさを再認識するとともに、大学、市町村及びNPO等と連携し、生涯学習の機会を提供。

○阪神奈公開講座フェスタ

大阪府、兵庫県、和歌山県の22の大学・研究機関で構成し、高度で良質な生涯学習機会の提供を目的としている組織である「阪神奈大学・研究機関生涯学習ネット」が生涯学習講座を実施。

（平成30年度実績）

講座数：20講座、参加者：949名

【主な講座】・特別講演（上半身で歩く!?逆転発想の新ウォーキング術で健康元気寿命アップ!）

・「心学」の発見 ほか

（令和元年度予定）

講座数：20講座（予定）

【主な講座】・特別講演（内容未定）

・各大学、研究機関による講座など

○おおさかふみんネット

大阪府と府内市町村が実施する生涯学習推進事業。府内を8ブロックに分け、ブロックごとに各自治体が公開講座や見学会などを実施。

（平成30年度実績）

講座数：13講座、参加者：1,000名

大阪府・大阪市ブロックは、12月に「大衆演劇」「狂言」の2講座を開催。

・体験しよう！大衆演劇

・はじめての狂言－能狂言の中の平家伝承－

（令和元年度予定）

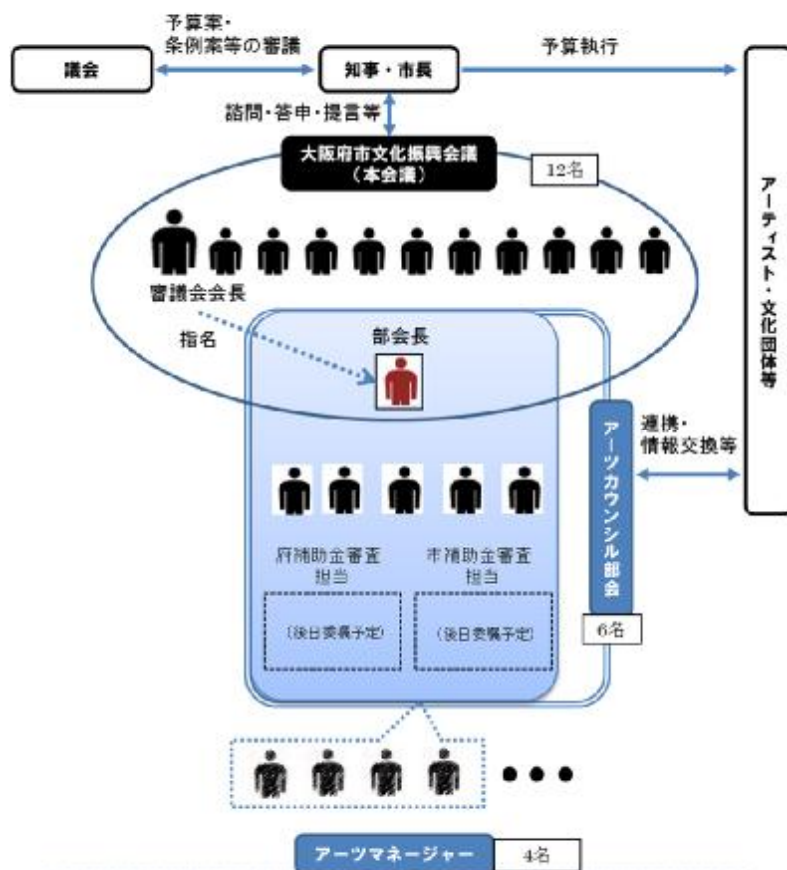
講座数：15講座（予定）

大阪府市文化振興会議、アーツカウンシル部会

大阪府及び大阪市では、府市の文化振興計画の策定及び変更、文化施策に関する重要事項等について調査審議し、知事・市長に提言、答申等を行う附属機関として、平成25年4月に「大阪府市文化振興会議」を共同設置。

また、同審議会の下に、芸術文化の専門家等で構成する「アーツカウンシル部会（通称:大阪アーツカウンシル）」を設置し、府市の文化行政の評価・審査等を行うにあたり、専門性・透明性・公平性を確保。

大阪府市文化振興会議及びアーツカウンシル部会 体制図



大阪府市文化振興会議委員

橋爪 紳也 (会長)	大阪府立大学大学院経済学研究科 教授／大阪府立大学観光産業戦略研究 所長
中川 幾郎 (副会長)	帝塚山大学 名誉教授
上田 假奈代	NPO法人こえとことばとこころの部屋 代表
荻田 清	梅花女子大学 名誉教授／上方芸能史家
片山 泰輔	静岡文化芸術大学文化政策学部 教授／日本文化政策学会 副会長
山東 功	大阪府立大学高等教育推進機構副機構長・教授／21世紀科学研究センター大学史編纂研究所 所長
壺井 勤也	大阪芸術大学 美術学科 教授／造形作家
中西 美穂	フリーアートプロデューサー
春野 恵子	浪曲師／公益社団法人浪曲親友協会 理事
藤野 一夫	神戸大学大学院国際文化学研究科 教授／日本文化政策学会 副会長
森口 ゆたか	近畿大学文芸学部 教授
わかぎ 忍ふ	劇作家、演出家

アーツカウンシル部会委員

中西 美穂 (部会長)	アートアドミニストレーター
古後 奈緒子	大阪大学文学研究科 准教授
権田 康行	東りいたみホール 館長
志村 聖子	相愛大学 音楽学部 准教授
山中 俊広	インディペンデントキュレーター
吉田 隆之	大阪市立大学創造都市研究科 准教授